

# 連珠っておもしろい

## 九段 河村典彦

### ●第44回●

ドイツに來ちやっつたよ!

グーテンターツグ! 8月  
から仕事の都合でドイツに  
単身赴任しました。來ての  
まずは感想。涼しい! 日本  
の暑さが嘘のよう。日差し  
は強いが日蔭は涼しく、朝  
晩は寒いくらいだ。聞いて  
はいたが、日本では10月ぐ  
らいだろうか。半袖に羽織  
るものを準備していくのが  
一般的だろうか。

何もかも違う! 車が右側  
を走っているだけではない。  
歩行者用信号が点滅せず、  
しかも短い。この前近くの  
信号で測ったら何と8秒だ  
った。車優位の社会である  
ことを痛感。

ドイツは日本と違って性  
善説の国である。日本もあ  
る意味そうなのだが、ドイ  
ツの鉄道には改札がない。  
切符を買うことを前提にし

ているのである。日本だと  
「切符を買った証拠の」確  
認作業」である改札を通ら  
ないと変な気がするのだが、  
慣れるとそっちの方があり  
がたい。ただし、たいいてい  
の場合検札にやっつて來る。  
バスの場合にはもっとひどく  
まともに切符を買っている  
のは私だけであり、あとの  
人は後ろから乗って勝手に  
降りている。定期が多いと  
は聞いているが、ずるして  
いる人もいるだろうに、と  
いつも気になっている。



フランクフルト市内

会社はフランクフルトか  
ら西に40kmぐらい離れて  
いるビースバーデンとい  
う町にあり、近くのホテルで  
1カ月は仮住まいをしてい  
る。フランクフルトを大阪  
とすればビースバーデンは  
神戸辺りだろうか。9月か  
ら住む所はフランクフルト  
からちよつと離れた所なの  
だがそう不便ではない。こ  
っちに來てからビザ取得や  
物件下見など結構忙しく、  
ホテル暮らしもあつて連珠  
にほとんど触れていない。  
まあ新居に移ってネットが



34階に入っている  
日本総領事館からの眺め

開通すれば、日曜日が多  
くの店が閉まってしまふの  
で連珠漬けになるだろう。  
言葉はやはりドイツ語な  
のだが、会社のドイツ人は  
英語が話せるのでこつちが  
話せればとりあえずは事が  
進む。しかし、いくら勉強  
したとは言え、連珠で使つ  
ているとは言え、早口の英  
語を聞きとるのはやはり難  
しい。せつかくなので、週  
に1回、英語とドイツ語の  
レッスンを受けることにし  
た。しかもマンツーマン授  
業。個人的には最大の目標



フランクフルト駅



市内を走る電車

がドイツ語を話せるようになることなので、上達するのが楽しみである。こっちは人は会えば気軽に挨拶してくれる。朝はモーゲン、夜はアーベントだけの簡単なものであるが、外国人に対して慣れているのだろう。自動販売機の前でおろおろしていると、「お手伝いしましょうか？」と声をかけてくれる人が必ずいる。変な人もいるが普通の人は親切だ。買い物も慣れるまでが大変だった。買い物かごからベル



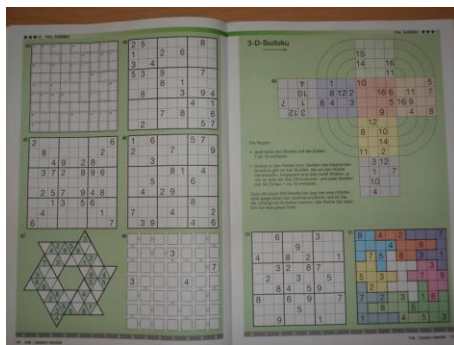
ライン川くだりでのひとこま (ねこ城を見下ろす)

トコンベアに全部出して、レジの人はベルトコンベアを動かしてさばいていく。こちらではレジ袋をくれな。なので日本から持って行ったエコバックが役立っている。ドイツは環境先進国らしく、いろんな規制がある。でも規制で縛られているのではなく、人々が自発的にルールを守っているのが素晴らしい。食事はやはりごはんとうどんが恋しくなる。まずくはないが、量が多い。朝ホテルのバイキングと、昼会



社の食堂の食事をしたら、もう夕食は入らないぐらいで、しばらくは簡単なもので済ませていた。できるだけ歩くようにしているので、おなか引つ込まないが体重は減っているかもしれない。こちらに來てから本屋にぜひ行きたかったのだが、先日そのチャンスが訪れた。ただ、あまりに本の種類が多く、探すのも大変だ。そんな中見つけたのが数独の本。あまりの種類が多くどれを買おうか迷ってしまっ。結局表紙で決めてしまった。左が数独雑誌の一つで、

こっちの人に「連珠」や「フアイブインナロウ」と言っても全く通じない。野球が全く理解されないのと同じだろう。大それたことは言わず、まずはエストニア遠征を第一目標とした。



3Dなんてのもある

とても数独の本とは思えない表紙である。で、中身であるが、日本で見慣れた1から9までの穴埋めだけではなく、左の写真のようにいろんなパターンがある。これに手を出す時間が無くなってしまうので、今は我慢している。